



学校だより

川越市立山田中学校

令和3年11月5日 発行

時間の使い方

校長 大澤由美子

10月29日に3年生の合唱祭を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため様々な制約がある中で、生徒達はよく頑張りました。美しく、力強い大人の声で3年生らしい合唱を創り上げてくれました。

さて、日没が早くなり、帰宅後の時間が多くとれる季節になりました。時間がたくさんある時こそ、上手な使い方を心がける必要があると思っています。

埼玉県学力・学習状況調査の質問紙調査から、本校生徒の結果の一部を示します。

- 「勉強することが楽しい、好きだ」という生徒の割合は、どの学年も県や市の平均を上回っている。 ← 素晴らしいですね。
- 平日の勉強時間が1時間未満である生徒の割合は、どの学年も県や市の平均を上回っている。(1年：35.0% 2年：45.5% 3年：27.3%)
- 土日など休みの日の勉強時間が1時間未満である生徒の割合は、どの学年も県や市の平均を上回っている。(1年：43.6% 2年：49.5% 3年：30.0%)
- 平日のゲームに費やす時間が3時間以上である生徒の割合は、どの学年も県や市の平均を上回っている。(1年：39.3% 2年：40.6% 3年：35.5%)

中学生の時間の使い方としては残念に感じます。学習内容が難しくなっていくことから、それなりの家庭学習の時間が必要になります。その日に学習したことを振り返り、確実に理解できるまで復習することが大切です。「なんとなくわかる」では不十分です。復習を始めてみれば、個人差はありますが1時間未満では終わらないことがわかります。「勉強の仕方がわからない」という人は、そもそも手をつけていない場合が多いものです。決まったやり方があるわけではなく、合う方法は人それぞれです。いろいろ試す中で、自分に合った方法がわかってきます。教科の先生に聞いたり、友達に聞いたりしながら、まずはやってみることです。

また、ゲームに3時間以上も費やしていれば、他のことに使える時間は少なくなります。一日24時間をどのように使うか、その配分を中学生として考えてほしいところです。

これは、5月に実施した調査であるため、現在の状況は少し変わっているかもしれませんが。時間の使い方について、意識の高まりを期待したいと思います。ご家庭でも話題にしてみてください。